

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	機械系分野	機械設計	標準規格の意義を説明できる。	4	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
				許容応力、安全率、疲労破壊、応力集中の意味を説明できる。	4	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
				標準規格を機械設計に適用できる。	4	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
				ねじ、ボルト・ナットの種類、特徴、用途、規格を理解し、適用できる。	4	前9,前10,前13
				ボルト・ナット結合における締め付けトルクを計算できる。	4	前10,前13
				ボルトに作用するせん断応力、接触面圧を計算できる。	4	前11,前13
評価割合						
			試験	ポートフォリオ	合計	
総合評価割合			80	20	100	
1. 機械設計に必要な規格を理解し、適用できる。			20	5	25	
2. 締結機械要素の強度計算ができる。			20	5	25	
3. 機械設計と各構成要素の相互関係を説明できる。			20	5	25	
4. 製造業における図面の役割を説明できる。			20	5	25	
			0	0	0	